

# 諸外国の輸出入規制に関するデータベースの作成

## 報 告 書

2025年3月31日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第一サービスセンター)

## 目次

1. はじめに	2
2. 調査の内容	2
3. 調査の対象	2
4. 調査の方法	3
5. 調査の結果	
5-1 中古機械・設備等の関税評価目的の船積前検査に関する適用規則 (令和2年度 報告書項目 5-1 の増補)	
5-1-1. 令和2年度 報告書項目 5-1 の要点	3
5-1-2. 調査時点における最新規制の調査	4
5-1-3. Circular No.07/2020-Cus の概要	4
5-1-4. 国内関係者ヒアリング	10
5-1-5. 現地関係者ヒアリング	10
6. おわりに	11

添付資料： Circular No.07-2020 (仮和訳)

## 1. はじめに

アジア諸外国へ現物投資及び物品を輸出する際の輸入規制に関し、投資企業、輸出企業等から当協会に問い合わせが多く寄せられており、これら情報を総合的に閲覧できるデータベースの整備が望まれているところである。

本事業は、当協会の有する情報及び知見に基づき、海外への現物投資及び輸出を行う企業に対し、アジア諸外国の輸出入規制及び制度に関する基礎データを利用しやすい形に編集し、提供することを目的とし、以って、投資企業及び輸出企業の円滑な活動の促進、国際貿易の促進に寄与することとする。

## 2. 調査の内容

諸外国(アジア)への現物投資、物品輸出入等の貿易業務に係る輸出入規制及び制度に関するデータを文献調査、現地調査等により収集・調査した結果を総合的に一覧できる形にデータベース化し、当協会のホームページ、ガイドブック等を通じて上記関係者の利用に供するものである。

## 3. 調査の対象

調査は以下のスケジュールにより実施している。

- 平成 23 年度 (2011 年度) : タイ
- 平成 24 年度 (2012 年度) : インドネシア
- 平成 25 年度 (2013 年度) : インド
- 平成 26 年度 (2014 年度) : ベトナム
- 平成 27 年度 (2015 年度) : タイ、インドの部分的アップデート(改定増補)
- 平成 28 年度 (2016 年度) : ベトナムの中古機械設備の輸入規制に関する部分的アップデート(改定増補)
- 平成 29 年度 (2017 年度) : ミャンマー
- 平成 30 年度 (2018 年度) : 中国
- 令和元年度 (2019 年度) : ベトナムの中古機械設備の輸入規制改正に伴う部分的アップデート(第 2 回改訂増補)
- 令和 2 年度 (2020 年度) : インドの中古機械設備の輸入規制改正に伴う部分的アップデート(第 2 回改訂増補) 及び  
ミャンマーの中古機械設備の輸入規制改正に伴う部分的アップデート(第 1 回改訂増補)
- 令和 3 年度 (2021 年度) : インドネシアの中古資本財の輸入規制改正に伴う部分的アップデート(改訂増補)
- 令和 4 年度 (2022 年度) : ベトナムの中古機械設備の輸入規制改正に伴う部分的アップデート(第 3 回改訂増補)
- 令和 5 年度 (2023 年度) : タイの部分的アップデート(第 2 回改訂増補)
- 令和 6 年度 (2024 年度) : インドの中古機械設備の輸入規制改正に伴う部分的アップデート(第 3 回改訂増補)

調査の対象は、国際的な投資環境及び輸出状況により決定する。また、各国規制の改変状況を踏まえて、データベースの見直しを適時行うとともに以降も調査を並行して継続していく。

本年度は、インドにおける中古機械設備の輸入規制に関する現地の実態調査を実施した。なお、令和2年度（2020年度）の報告書は、本報告書により一部増補される形となる。

#### 4. 調査の方法

以下の方法で調査を実施した。

- ① 文献調査(インターネットを含む。)
- ② 国内関係者ヒアリング
- ③ 現地関係者ヒアリング

#### 5. 調査の結果

##### 【インドの輸出入規制に関するアップデート】

##### 5-1 中古機械・設備等の関税評価目的の船積前検査に関する適用規則

(令和2年度 報告書項目 5-1 の増補)

##### 5-1-1. 令和2年度 報告書項目 5-1 の要点

はじめに、令和2年度調査結果の要点を以下に示す。

- ・同一法人格間の国際取引（設備移管）において、輸入通関時の関税価格の扱いが問題となることが多い。
- ・WTO 関税評価協定に基づき、関税評価には「取引価格」（CIF ベースの現実支払価格）が使用されるべきとされているが、同一法人格間の取引における CIF 価格の妥当性は判断が難しい。理由として、需要と供給による市場性の欠如や、グループ企業内で価格設定が操作可能であることが挙げられる。
- ・インド税関は WTO 関税評価協定に準拠して「Customs Valuation (Determination of Value of Imported Goods) Rules 2007」(CVR, 2007) を制定。
- ・2008 年に税関通達 Circular No.4/2008-Cus を発行し、中古機械設備のインド輸入時に、積地検査機関の『価格証明書』の使用が可能とした。
- ・インド国内の各港では積地証明書の有効性が統一されておらず、揚港での再検査・再査定が行われることがあった。
- ・2015 年 10 月 15 日に税関通達 Circular No.25/2015-Cus が発行され、積地検査機関の価格評価の有効性が再確認された。全インド国内の税関での正式採用が決定され、統一された証明書の指定書式が導入された。
- ・Circular No.25/2015-Cus では、中古機械や資本財の輸入時に積地での検査と証明書の添付が基本とされ、調達が難しい場合にはインド国内での検査が認められた。
- ・付属書 2G リストに記載された船積前検査機関(PSIA)は、金属スクラップ専任の検査機関に再編され、価格評価目的の検査には適さなくなった。
- ・2020 年 2 月 5 日に税関通達 Circular No.07/2020-Cus が発行され、付属書 2G リストに記載された PSIA は中古機械や資本財の検査対象から除外された。

### 5-1-2. 調査時点における最新規制の調査

調査の結果、前記税関通達（Circular No.07/2020-Cus）以降の新規制は確認されなかった。

### 5-1-3. Circular No.07/2020-Cus の概要

本年度の調査では後述する現地ヒアリングを行うために当該通達の内容を精査した。  
尚、文中の「2007 年関税評価規則（CVR）」の該当部分を合わせて調査、補足した。

注記 1) 和訳は翻訳文意を保証するものではない。規制条文内容は原文を確認願う。

注記 2) 2007 年関税評価規則（CVR ; Custom Valuation Rules, 2007）の通達文書名は  
「Notification No. 94/2007-Customs (N.T.)」である。

Clause 1
The circular requires that field formations rely upon a chartered engineer's inspection report while valuing imports of second hand machinery and that inspection/appraisal reports issued at the port of loading should be accepted.
当該通達は、輸入中古機械の価格査定を、公認技術者による検査報告書に頼ることを現場組織に求めるものであり、積荷港で発行された検査／鑑定報告書は受理されなければならないとするものである。

Clause 4.1
Where used second hand machinery is sold for export to India and the sale meets all of the requirements set out in Customs Valuation (Determination of Value of Imported Goods) Rules 2007, the price paid or payable for the goods is to be used as the basis for determining the assessable value.
中古機械がインドへの輸出のために売却され、その売却が 2007 年関税評価（輸入品の価格の決定）規則（CVR-2007）に定められた要件を全て満たしている場合、商品のために支払った、あるいは支払うべき価格が、課税評価額を決定するための基準となる。

Clause 4.2
However, it is frequently the case that as part of an arrangement, separate from the contract of sale, the second hand machineries are reconditioned, refurbished, modernized, or otherwise improved prior to their importation into India. In such situations, there is a change in the condition of the goods brought about prior to their importation. Similarly, other costs such pre-shipment inspection, dismantling and crating charges may be incurred by the buyer after the sale of the goods.
しかし売買契約とは別の取り決めの一部として、中古機械がインドに輸入される前に、修理、改造、最新化、あるいはその他の方法で改善されているケースは多い。このような状況では、輸入以前に商品の状態に変更が加えられている。同様に、出荷前検査、解体、梱包材などの費用を、商品の販売後に購入者が負担する場合がある。

Clause 4.3

In view of the nature of goods, there may be certain difficulties in applying Rule 4 or 5 of the CVR, 2007. These difficulties arise from the fact that the goods being valued are used second hand machinery, and it may be difficult to find data relating to sales of such goods to India, which could be considered identical or similar and meet all the requirements of Rule 4 and 5 of the CVR, 2007.

商品の性質を考慮すると、2007 年関税評価規則（CVR）の規則 4 および 5 を適用するのが若干困難な場合があると考えられる。これらの問題は、評価対象となる商品が中古機械であるという事実に起因しており、インドへのこうした商品の販売に関連して、同一あるいは類似のケースと見なすことができ、2007 年 CVR の規則 4 および 5 の要件を全て満たすデータを見つけるのは困難であろう。

CVR 規則 4：同一品の取引額

※ 同時期に輸入された同一品の取引額を以て決定する。

CVR 規則 5：類似品の取引額

※ 同時期に輸入された類似品の取引額を以て決定する。

Clause 4.4

Similarly, application of Rule 7 of CVR, 2007 where under goods being appraised are valued on the basis of subsequent sales of identical or similar goods in India, may also not be possible because the goods being appraised are imported for use rather than for resale. The difficulty of finding such sales of goods which could be considered identical or similar to the goods being appraised, may preclude the application of this method.

同様に、鑑定対象となる商品が、同一または類似の商品がその後インドで販売される価格に基づいて評価される場合、2007 年 CVR 規則 7 の適用が不可能だと考えられる。鑑定対象となるこうした商品は、転売するためでなく、使用するためとして輸入されているからである。鑑定対象となる商品と同一あるいは類似すると目される商品を見つけるのが困難なため、この評価方法は不可能であると考えられる。

CVR 規則 7：控除額

※ 加工後の輸入品の販売単価を適用

※ 加工後に生じる付加価値は考慮

※ 国内販売に係る手数料・国内輸送料・保険料・関税及びその他税は控除

Clause 4.5

Under Rule 8 of the CVR, 2007, goods are valued using the computed value method which is based, among other things on the cost of production of the goods being appraised plus an amount for profit and general expenses. However, since used capital goods are not manufactured as such, viz, as old and used machinery, it is not possible to calculate assessable value based upon the cost of

production.

2007年 CVR 規則 8 の下では、鑑定対象となる商品の製造原価に利益と一般経費を加えた金額を基に算出された評価方法を使って、商品の価値が評価される。しかし中古資本財、すなわち中古機械は、そのように製造されていないため、製造原価に基づき評価可能額を算出するのは不可能である。

CVR 規則 8 : 算出額

※ 以下を合計し計算

- + 材料・製作・加工の各費用または価値
- + 利益及び一般経費
- + Rule 10 (2)
- ++ 輸送料 (FOB 価格 × 20%)
- ++ 保険料 (FOB 価格 × 1%)

Clause 4.5

It follows that in cases where used capital goods cannot be appraised under Rule 3, and where there may be difficulty in applying Rules 4 to 8 of the CVR, 2007, the proper officer may be required to apply the residual method under Rule 9 so as to factor condition, depreciation, refurbishment, charges of disassembly & packing and any expenses incurred by way of pre-shipment inspection agency charges etc.

従って、中古資本財が規則 3 の下で鑑定できない場合、また、2007年 CVR 規則 4 および 8 を適用するのが難しい場合、しかるべき職員が規則 9 の下での再使用方法を適用し、商品の状態、減価償却額、改修、分解や梱包の費用、そして出荷前検査機関の料金として発生した全ての費用などを考慮することが必要となる場合がある。

CVR 規則 9 : その他評価方法

- ※ インド国内で利用可能なデータに基づいた合理的手段
- ※ ただし、以下によって価値決定してはならない
  - + 国内販売価格
  - + 2つの代替額のうち高額な方
  - + 輸出国の販売価格
  - + Rule 8 以外で決定された製造原価
  - + インド以外の国への輸出額
  - + 最小関税評価額
  - + 任意または虚偽の価格

Clause 4.7

Given the nature of challenges in computing the value of second hand machinery under Rule 9 and the need to ensure that the approach applied reflects commercial reality and results in a value which is fair, and is arrived through uniform processes by all custom houses, it is felt that it is necessary to obtain inspection I appraisal reports from qualified neutral parties.

規則 9 の下で中古機械の価値を計算する際の課題、さらに、適用される手法が商業的現実を反映し、その結果として公正な評価が行われ、さらに全ての税関で均一なプロセスを経た評価が行われなければならないという点を考えると、公認の第三者機関から検査/鑑定報告書入手する必要があると思われる。

Clause 4.8

For this purpose, the Board has decided that Inspection/Appraisal Reports issued by Chartered Engineers, or their equivalent, based in the country of sale of the second hand machinery shall be accepted by all Custom Houses. For the purposes of uniformity, the format in which inspection/appraisal reports shall be prepared by the Chartered Engineer is annexed to this circular.

このため当局は、中古機械の販売国に拠点を置く公認技術者あるいはそれに相当する機関が発行した検査/鑑定報告書については、税関で受理されるべきであると結論づけた。均一性を保つため、公認技術者が作成する検査/鑑定報告書の様式をこの通達に添付する。

Clause 4.8

In the event that an importer does not produce an inspection/appraisal report in the prescribed format from the country of sale, he shall be free to engage the services of any Chartered Engineer from those empanelled by the Custom House of the port of import.

輸入業者が販売国で作成された所定様式の検査/鑑定報告書を提出できない場合、その輸入業者は輸入地で税関に選定された任意の公認技術者によるサービスを利用することができる。

Clause 4.9

No Custom House shall require any importer to have an inspection I appraisal report of second hand machinery from a particular Chartered Engineer. The importer shall be free to select any chartered engineer, empaneled by the Custom House for the respective class of goods, if so required.

税関は、いかなる輸入業者に対しても、中古機械の点検/鑑定報告書を特定の公認技術者に作成させることを求めてはならない。輸入業者は、必要に応じて、商品の種類ごとに、税関が選出した中から任意の公認技術者を自由に選択することができる。

Clause 5

All the Custom Houses are also hereby advised to empanel Chartered Engineers as per the requirements provided in this Circular immediately for the purpose of valuation of second hand machinery. The applicants must possess qualification for appraisal/inspection of second hand machinery and certified as such by the Institute of Chartered Engineers.

すべての税関は中古機械の評価を目的として本通知に記載された要件に従って、公認技術者を選定することを通知する。申請者は中古機械の鑑定/検査の資格を有し公認技術者協会の認定を受けている必要がある。

Clause 5.1

It is also clarified that upon the empanelment of Chartered Engineers by the Custom Houses. The practice of accepting certification from PSIA's for valuation of second hand machinery shall be discontinued. Those Customs Houses who already have empanelled Chartered Engineers for the valuation of second hand machinery may continue with those empanelled engineers as per the terms of the empanelment unless requirements dictate otherwise.

税関が公認技術者を選定した場合、中古機械の評価に関しては PSIA's からの証明書を受け入れる慣行は廃止されなければならない。中古機械の評価のために既に公認技術者を選任している税関は、要件が異なる場合を除き、引き続き選定したエンジニアの利用を継続することができる。

Clause 5.2

It is also clarified that PSIA's who have the requisite qualifications for being empanelled as a Chartered Engineer for valuation of second hand machinery may make an application to the respective Customs House for consideration of empanelment.

また、中古機械評価の選定に必要な要件を揃えている PSIA's は、公認技術者として選定されるために税関へ申請を行うこと。

Clause 6

To sum up, the following guidelines shall be followed:

- a). All imports of second hand machinery I used capital goods shall be ordinarily accompanied by an inspection I appraisal report issued by an overseas chartered engineer or equivalent, prepared upon examination of the goods at the place of sale.
- b). The report of the chartered engineer or equivalent should be as per the Form A annexed to this circular.
- c). In the event of the importer failing to procure an overseas report of inspection/appraisal of the goods, he may have the goods inspected by any one of the Chartered Engineers empanelled locally by the respective Custom Houses.
- d). In cases where the report is to be prepared by the Chartered Engineers empanelled by Custom Houses, the same shall be in the Form B annexed to this circular.

以上を総合し、以下のガイドラインに従うこと。

- a). 輸入中古機械/中古資本財には全て、販売地での商品検査時に準備された、在外の公認技術者、あるいはそれに相当する機関が発行した検査/鑑定報告書を通常添付しなければならない。
- b). 公認技術者、あるいはそれに相当する機関による報告書の様式は、この通知書に添付するフォームAのとおりとすること。
- c). 輸入業者が海外から商品の検査/鑑定報告書を調達できない場合には、その輸入業者は、それぞれの税関がその地域で選任する公認技術者の検査を受ける事ができる。
- d). 税関が選定した公認技術者の報告書の様式は、この通知書に添付するフォーム B のとおりとする。

Clause 6

e). The value declared by the importer shall be examined with respect to the report of the chartered engineer Similarly, the declared value shall be examined with respect to the depreciated value of the goods determined in terms of the circular No. 493/124/86-Cus VI dated 19/11/1987 and dated 4/1/1988.

If such comparison does not create any doubt regarding the declared value of the goods, the same may be appraised under rule 3 of the CVR, 2007. If there are significant differences arising from such comparison, Rule 12 of the CVR, 2007 requires that the proper officer shall seek an explanation from the importer justifying the declared value.

The proper officer may then evaluate the evidence put forth by the importer and after giving due consideration to factors such as depreciation, refurbishment or reconditioning (if any), and condition of the goods, determine whether the declared transaction value conforms to Rule 3 of CVR, 2007.

Otherwise, the proper officer may proceed to determine the value of the goods, sequentially, in terms of rule 4 to 9.

e). 輸入業者によって申告された価格については、公認技術者による報告書に基づいて調査を行う。同様に、申告価格については、1987年11月19日付けおよび1988年1月4日付けの通達No.493/124/86-CusVIの観点から決定される償却済みの商品の価値に対して調査するものとする。

このような比較によって、商品の申告価格に疑義が生じなければ、同商品を2007年CVR規則3の下で鑑定することができる。この比較によって著しい価格差が生じる場合、2007年CVR規則12に拠り、しかるべき職員が輸入業者に対して、申告価格を正当化する説明を求めなければならない。

しかるべき職員はその後、輸入業者によって提出された証拠を査定し、減価償却、改修または修繕(あれば)、商品の状態などの要因を踏まえ、申告された取引額が2007年CVR規則3に準拠しているかどうかを決定する。それ以外の場合は、しかるべき職員が規則4から9までの内容に関して順番に商品価格の決定を続行する。

Clause 7

Circular No.25/2015 dated 15th October, 2015 stands superseded with the issue of this circular.

本通達の内容は、2015年10月15日付の通達 No.25/2015 に優先する。

#### 5-1-4. 国内関係者ヒアリング

国内関係者ヒアリングは、インドへ中古機械の輸出を検討・計画している企業から弊会が相談を受けた内容を取りまとめ、現地関係者へのヒアリング項目を以下の通りとした。

- ・開梱検査は行われるか
- ・通関許可されない事例
- ・ Invoice Value 設定時に注意すべき点
- ・ 中古機械の輸入通関許可が下りるまでの概算日数について
- ・ CEC の記載内容で税関が特に注目している項目について
- ・ 「Appendix 2G」 リスト\*に列記されていない検査機関が発行した CEC の有効性
  - \*前述の通り中古機械の CEC 発行権限には関係が無いとされている
- ・ 輸入通関トラブルについて

本年度の調査では上記に対する回答を得るためヒアリングを実施することとした。

#### 5-1-5. 現地関係者ヒアリング

現地関係者ヒアリングは2024年9月3日～5日においてデリー港、ムンバイ港、ナバシェバ港に拠点を有する日系の物流企業・商社・メーカー等に対して実施した。

##### 開梱検査は行われるか

中古機械の開梱検査はデリー港・ムンバイ港・ナバシェバ港のいずれにおいても100%実施されている。

##### 通関許可されない事例

開梱検査において型式・製造者・製造番号・製造年の現認が行われ、銘板記載内容と Invoice 及び CEC との不整合が発見された場合。

輸出時の HS Code とインド輸入時の HS Code が異なる場合。

類・項（6ケタ）以降の号（7・8ケタ目）で異なり不一致を指摘されるおそれがある。

#### Invoice Value 設定時に注意すべき点

申告価格は減価償却を考慮した価格である必要があり、日本の簿価は通用しない。

Invoice Value に下限値は無いが、税関はどのような中古機械であっても最終残価 30%程度は検討している。

#### 中古機械の輸入通関許可が下りるまでの概算日数について

約 2 週間程度を見込んでいます。

#### CEC の記載内容で税関が特に注目している項目について

担当検査員名及び添付ライセンスが一致しているか。

証明書内に **Capital goods** と明記されているか。

品名が船積書類と一致しているか。

型式・製造番号・原産国・製造年月

新品購入価格

稼働状態で検査を行っているか。

修理・整備履歴（年月・内容・金額）

カタログは簡易版程度の添付が良い。

「Appendix 2G」リストに列記されていない検査機関が発行した CEC の有効性  
稀に、2G リストに列記された検査機関に限定されるとの見解が税関職員より示されるケースがあるので、都度説明を行って、理解を得ている。

#### 輸入通関トラブルについて

輸入申告書類・CEC・銘板刻印内容のいずれかが一致していない。

品名に「USED」と記載されていない。

銘板は金属製が良く、シール・紙等は指摘されやすい。

開梱検査は必ず行われるため、銘板の現認がしやすいような梱包や、積地での梱包時の写真などを撮影しておくことが望ましい。

## 6. おわりに

本報告書記載の内容は、2025 年 3 月 31 日時点の規制及び制度の概要であり、今後、変更があった場合は適時改定するとともに、関係者の意見等を踏まえて内容の充実に努める所存である。また、本報告書記載の内容についての不明な点は、当協会に照会して頂きたい。

CIRCULAR NO.07/2020-CUSTOMS

Dated 5th February, 2020

F.No.467/34/2006-Cus.V  
Ministry of Finance  
Department of Revenue  
Tax Research Unit  
Central Board of Indirect Taxes & Customs

\*\* \*\* \*

To,  
All Principal Chief Commissioners/Chief Commissioners of Customs,  
Principal Directors General/Directors General of Customs,  
Principal Commissioners/Commissioner of Customs.

### **Valuation of second hand machinery-regarding**

Representations have been received from the trade regarding Circular No.25/2015-Customs dated 15th October, 2015 on valuation of second hand machinery. For this purpose, the circular requires customs to rely upon inspection report either issued at the port of loading by overseas Chartered Engineer or issued upon import by a pre-shipment inspection agency (PSIA) notified by DGFT, or by a chartered engineer empanelled by the Custom House where the DGFT approved PSIA's are not available.

2015年10月15日付けの中古機械の評価に関する通知（Circular No.25/2015-Customs）に関する要望が寄せられている。このため、本通知には税関が中古機械の評価に関して、積港で海外の公認エンジニア（Chartered Engineer）によって発行された検査報告書、または輸入時に DGFT（Directorate General of Foreign Trade）によって通知された船積前検査機関（PSIA）もしくは DGFT が承認した船積前検査機関が利用できない場合には、税関で選定された公認エンジニアによって発行された検査報告書を利用することが求められる。

2. It has been represented that the PSIA's empanelled by DGFT are insufficient in number leading to delay in clearances. It has also been informed that PSIA's empanelled by DGFT are not qualified for appraising second hand machinery.

DGFT の指定船積前検査機関（PSIA）が不足しており、それが通関作業の遅延を引き起こしているとの意見が提出された。また、DGFT の指定船積前検査機関は中古機械の鑑定には適格ではないとの情報も提供された。

3. In this regard, DGFT vide O.M.No.01/93/180/51/AM-16/PC II(B)/E-1500/176 dated 3rd September 2019, has clarified that PSIA's are meant only for certifying that consignments of metal scrap are free of radio-active agents and explosives. The PSIA's are not required to be qualified as engineers. Also, ascertaining the age of a second hand machine is an engineering exercise and can be performed only by a qualified engineer. Thus, certifying the age of machines is beyond the jurisdiction of PSIA's.

この件に関して DGFT は 2019 年 9 月 3 日付けの O.M.No.01/93/180/51/AM-16/PC II(B)/E-1500/176 において、船積前検査機関（PSIA's）は金属スクラップが放射性物質や爆発物を含まないことを証明するためのものであると明確に述べている。PSIA's は技術者としての資格を要さない。また中古機械の（耐用）年数を特定することは技術者による作業であり、適格な技術者にしか行うことができない。したがって、機械の（耐用）年数を証明することは PSIA's の管轄外である。

資料の著作権利は一般社団法人日本海事検定協会が有し、商用目的での無断使用や転載等はおやめください。翻訳文意を保証するものではありませんので本資料に起因する如何なる損失/損害に関して弊会は一切の責任を負いません。尚、規制条文内容は必ず原文でご確認頂きますようお願い申し上げます。

4. After due consideration of clarification from DGFT and representations made by trade. Board has decided that henceforth for inspection/appraisal of second hand machinery, the following procedure shall be followed:

DGFT からの明確な説明と各所要望を十分に考慮し、当局は次の手順に従うことを決定した。今後は中古機械の検査/鑑定には、以下の手続きを採用すること。

4.1 Where used second hand machinery is sold for export to India and the sale meets all of the requirements set out in Customs Valuation (Determination of Value of Imported Goods) Rules 2007, the price paid or payable for the goods is to be used as the basis for determining the assessable value.

中古機械がインドへの輸出のために売却され、その売却が 2007 年関税評価（輸入品の価格の決定）規則（CVR-2007）に定められた要件を全て満たしている場合、商品のために支払った、あるいは支払うべき価格が、課税評価額を決定するための基準となる。

4.2 However, it is frequently the case that as part of an arrangement, separate from the contract of sale, the second hand machineries are reconditioned, refurbished, modernized, or otherwise improved prior to their importation into India. In such situations, there is a change in the condition of the goods brought about prior to their importation. Similarly, other costs such pre-shipment inspection, dismantling and crating charges may be incurred by the buyer after the sale of the goods. Costs of all such elements need to be determined for the purpose of arriving at the value under section 14 of the Customs Act. Thus, there may be instances where the requirements of Rule 3 of the Valuation Rules are not met, in which case, the value for imposition of duty must be determined under one of the subsequent methods of valuation applied in sequential order.

しかし売買契約とは別の取り決めの一部として、中古機械がインドに輸入される前に、修理、改造、最新化、あるいはその他の方法で改善されているケースは多い。このような状況では、輸入以前に商品の状態に変更が加えられている。同様に、出荷前検査、解体、梱包材などの費用を、商品の販売後に購入者が負担する場合がある。

関税法第 14 条の下で評価額を算定する目的のためには、こうした費用が確定されなければならない。このように、評価規則の規則 3 に定められた要件を満たさない例があるが、その場合、課税対象となる価格は、以下の評価方法を逐次適用して決定されなければならない。

4.3 In view of the nature of goods, there may be certain difficulties in applying Rule 4 or 5 of the CVR. 2007. These difficulties arise from the fact that the goods being valued are used second hand machinery, and it may be difficult to find data relating to sales of such goods to India, which could be considered identical or similar and meet all the requirements of Rule 4 and 5 of the CVR, 2007.

商品の性質を考慮すると、CVR-2007 Rule 4 および Rule 5 を適用するのが若干困難な場合があると考えられる。これらの問題は、評価対象となる商品が中古機械であるという事実に起因しており、インドへのこうした商品の販売に関連して、同一あるいは類似のケースと見なすことができ、2007 年 CVR の Rule 4 および Rule 5 の要件を全て満たすデータを見つけるのは困難であろう。

4.4 Similarly, application of Rule 7 of CVR, 2007 where under goods being appraised are valued on the basis of subsequent sales of identical or similar goods in India, may also not be possible because the goods being appraised are imported for use rather than for resale. The difficulty of finding such sales of goods which could be considered identical or similar to the goods being appraised, may preclude the application of this method.

同様に、鑑定対象となる商品が、同一または類似の商品がその後インドで販売される価格に基づいて評価される場合、2007年 CVR Rule 7 の適用が不可能だと考えられる。鑑定対象となるこうした商品は、転売するためでなく、使用するためとして輸入されているからである。鑑定対象となる商品と同一あるいは類似すると目される商品を見つけるのが困難なため、この評価方法は不可能であると考えられる。

4.5 Under Rule 8 of the CVR, 2007, goods are valued using the computed value method which is based, among other things on the cost of production of the goods being appraised plus an amount for profit and general expenses. However, since used capital goods are not manufactured as such, viz, as old and used machinery, it is not possible to calculate assessable value based upon the cost of production.

CVR-2007 Rule 8 の下では、鑑定対象となる商品の製造原価に利益と一般経費を加えた金額を基に算出された評価方法を使って、商品の価値が評価される。しかし中古資本財、すなわち中古機械は、そのように製造されていないため、製造原価に基づき評価可能額を算出するのは不可能である。

4.6 It follows that in cases where used capital goods cannot be appraised under Rule 3, and where there may be difficulty in applying Rules 4 to 8 of the CVR, 2007, the proper officer may be required to apply the residual method under Rule 9 so as to factor condition, depreciation, refurbishment, charges of disassembly & packing and any expenses incurred by way of pre-shipment inspection agency charges etc.

従って、中古資本財が規則 3 の下で鑑定できない場合、また、CVR-2007 Rule 4 および 8 を適用するのが難しい場合、しかるべき職員が規則 9 の下での再使用方法を適用し、商品の状態、減価償却額、改修、分解や梱包の費用、そして船積前検査機関の費用などを考慮することが必要となる場合がある。

4.7 Given the nature of challenges in computing the value of second hand machinery under Rule 9, and the need to ensure that the approach applied reflects commercial reality and results in a value which is fair, and is arrived through uniform processes by all Custom Houses, it is felt that it is necessary to obtain inspection/appraisal reports from qualified neutral parties.

規則 9 の下で中古機械の価値を計算する際の課題、さらに、適用される手法が商業的現実を反映し、その結果として公正な評価が行われ、さらに全ての税関で均一なプロセスを経た評価が行われなければならないという点を考えると、公認の第三者機関から検査/鑑定報告書を入手する必要があると思われる。

4.8 For this purpose, the Board has decided that Inspection/Appraisal Reports issued by Chartered Engineers, or their equivalent, based in the country of sale of the second hand machinery shall be accepted by all Custom Houses. For the purposes of uniformity, the format in which inspection/appraisal reports shall be prepared by the Chartered Engineer is annexed to this circular.

In the event that an importer does not produce an inspection/appraisal report in the prescribed format from the country of sale, he shall be free to engage the services of any Chartered Engineer from those empanelled by the Custom House of the port of import.

このため当局は、中古機械の販売国に拠点を置く公認技術者あるいはそれに相当する機関が発行した検査/鑑定報告書については、税関で受理されるべきであると結論づけた。均一性を保つため、公認技術者が作成する検査/鑑定報告書の様式をこの通達に添付する。

輸入業者が販売国で作成された所定様式の検査/鑑定報告書を提出できない場合、その輸入業者は輸入地で税関に選定された任意の公認技術者によるサービスを利用することができる。

4.9 No Custom House shall require any importer to have an inspection/appraisal report of second hand machinery from a particular Chartered Engineer. The importer shall be free to select any chartered engineer, empanelled by the Custom House for the respective class of goods. if so required.

税関は、いかなる輸入業者に対しても、中古機械の検査/鑑定書を特定の公認技術者に作成させることを求めてはならない。輸入業者は必要に応じて商品の種類ごとに税関が選出した中から任意の公認技術者を自由に選択することができる。

5. All the Custom Houses are also hereby advised to empanel Chartered Engineers as per the requirements provided in this Circular immediately for the purpose of valuation of second hand machinery. The applicants must possess qualification for appraisal/inspection of second hand machinery and certified as such by the Institute of Chartered Engineers.

すべての税関は中古機械の評価を目的として本通知に記載された要件に従って、公認技術者を選定することを通知する。申請者は中古機械の鑑定/検査の資格を有し公認技術者協会の認定を受けている必要がある。

5.1 It is also clarified that upon the empanelment of Chartered Engineers by the Custom Houses. The practice of accepting certification from PSIA's for valuation of second hand machinery shall be discontinued. Those Customs Houses who already have empanelled Chartered Engineers for the valuation of second hand machinery may continue with those empanelled engineers as per the terms of the empanelment unless requirements dictate otherwise.

税関が公認技術者を選定した場合、中古機械の評価に関しては PSIA's からの証明書を受け入れる慣行は廃止されなければならない。中古機械の評価のために既に公認技術者を選任している税関は、要件が異なる場合を除き、引き続き選定したエンジニアの利用を継続することができる。

5.2 It is also clarified that PSIA's who have the requisite qualifications for being empanelled as a Chartered Engineer for valuation of second hand machinery may make an application to the respective Customs House for consideration of empanelment.

また、中古機械評価の選定に必要な要件を揃えている PSIA's は、公認技術者として選定されるために税関へ申請を行うこと。

資料の著作権は一般社団法人日本海事検定協会が有し、商用目的での無断使用や転載等はおやめください。翻訳文意を保証するものではありませんので本資料に起因する如何なる損失/損害に関して弊会は一切の責任を負いません。尚、規制条文内容は必ず原文でご確認頂きますようお願い申し上げます。

6. To sum up, the following guidelines shall be followed:

以上を総合し、以下のガイドラインに従うこと。

(a) All imports of second hand machinery/used capital goods shall be ordinarily accompanied by an inspection/appraisal report issued by an overseas Chartered Engineer or equivalent, prepared upon examination of the goods at the place of sale.

輸入中古機械/中古資本財には全て、販売地での商品検査時に準備された、在外の公認技術者、あるいはそれに相当する機関が発行した検査/鑑定報告書を通常添付しなければならない。

(b) The report of the overseas chartered engineer or equivalent should be as per the Form A annexed to this circular.

公認技術者、あるいはそれに相当する機関による報告書の様式は、この通知書に添付するフォーム A のとおりとすること。

(c) In the event of the importer failing to procure an overseas report of inspection/appraisal of the goods, he may have the goods inspected by any one of the Chartered Engineers empanelled locally by the respective Custom Houses.

輸入業者が海外から商品の検査/鑑定報告書を調達できない場合には、その輸入業者は、それぞれの税関がその地域で選任する公認技術者の検査を受ける事ができる。

(d) In cases where the report is to be prepared by the Chartered Engineers empanelled by Custom Houses, the same shall be in the Form B annexed to this circular.

税関が選定した公認技術者の報告書の様式は、この通知書に添付するフォーム B のとおりとする。

(e) The value declared by the importer shall be examined with respect to the report of the Chartered Engineer. Similarly, the declared value shall be examined with respect to the depreciated value of the goods determined in terms of the circular No.493/124/86-Cus VI dated 19/11/1987 and dated 4/1/1988. If such comparison does not create any doubt regarding the declared value of the goods, the same may be appraised under rule 3 of the CVR, 2007. If there are significant differences arising from such comparison, Rule 12 of the CVR, 2007 requires that the proper officer shall seek an explanation from the importer justifying the declared value. The proper officer may then evaluate the evidence put forth by the importer and after giving due consideration to factors such as depreciation, refurbishment or reconditioning (if any), and condition of the goods, determine whether the declared transaction value conforms to Rule 3 of CVR, 2007. Otherwise, the proper officer may proceed to determine the value of the goods, sequentially, in terms of rule 4 to 9.

輸入業者によって申告された価格については、公認技術者による報告書に基づいて調査を行う。同様に申告価格については、1987年11月19日付けおよび1988年1月4日付けの通達No.493/124/86-Cus VIの観点から決定される償却済みの商品の価値に対して調査するものとする。このような比較によって、商品の申告価格に疑義が生じなければ、同商品をCVR-2007 Rule 3の下で鑑定することができる。この比較によって著しい価格差が生じる場合、CVR-2007 Rule 12に拠り、しかるべき職員が輸入業者に対して、申告価格を正当化する説明を求めなければならない。しかるべき職員はその後、輸入業者によって提出された証拠を査定し、減価償却、改修または修繕（あれば）、商品の状態などの要因を踏まえ、申告された取引額がCVR-2007 Rule 3に準拠しているかどうかを決定する。それ以外の場合は、しかるべき職員が規則4から9までの内容に関して順番に商品価格の決定を続行する。

7. Circular No.25/2015 dated 15th October, 2015 stands superseded with the issue of this circular.  
本通達の内容は、2015年10月15日付の通達No.25/2015に優先する。

8. Clarification, if any, may be sought from the Board.

9. Hindi version follows.